■陵南中学校区 B-1,B-2 【地域のありたい姿と必要なこと】 第2回 八王子市のみんなの未来を考えるワークショップ

ありたい姿

あなたの街のコミュニティセンター陵南中学校

つながりを つくる

地域主体

想い

- ・地域のために主体的に考え行動できる人材を増やしていきたい。
- ・地域にとって身近な学校を、住民が地域活動や会議など多様な使い方のできる場にしたい。

高齢者の地域で 友人(話し相手) 作りのシステム

近所の方で 声かけ

(少しだけ) ずうずうしくなる 積極的に 話しかけるなど

価値観の共有

共働き前提で 場を設定する

まずは町会に 参加 若い世代

公園の役割を みんなで 理解する!

公園の細かな整 理をみんなで参 加して行う

子育てにおける 中心が母親→父親 も積極的に参加 できる仕組み作り

運動会、祭等の 地域活動に多くの 人が参加できる 方法を考える

地域で活動する (役割の見直し) 町会、育成、 青少対とか

すぐにやれる

回覧の整理

ハード面

学校の開放 会議等の教室提供 したら会館として 活用できるのでは

場所の確保 行政の 役割)

・資源 ・時間 ・お金

・土地 (行政)

ハードが 整えば ソフトに つながる

要になる地域の 組織を編成する

陵南地区の 電話等 相談窓口設置 (苦情相談はしない)

中学校の役割や 目的を、先生達に 理解してもらう →文科省 は地域の役割を

重要としている

保育園の 開放を行う 行政主体

学校区の見直し

・高齢化に伴う介護の問題

- ・在宅介護の負担軽減が急務
- ·介護士の人材拡充(手当てUP)

人的リソースの整理 (人材の調査) 行政の整理

在宅介護 できる人材の 確保

ボランティア の 限界

報酬が あると 変わるかも

時間がかかる

陵南と浅川は

セット

家族

大家族(地域)に期

待すること

・自助共助の負

荷を減らす

を見守り

いの促進

・先輩を敬う徳育

・親に代わり子供

・高齢者の生きが

(趣味、友人作

制度·施策整備

- ・子供の 教育環境
- ・生活環境
- ・家族関係 ・通信環境

完結> ニーズの把握 (詳細に) →具体的な施策

<仕事も遊びも

子育ても地域で

<仕事も遊びも 子育ても地域で 完結> サポート体制の 充実(人、モノ、 場所)

駐車場の整備

- ・福祉ビジネスははたして ビジネスになるのか
- ・福祉ビジネスをビジネス化 するための問題点アップ →相応の負担は覚悟 (個人、税金いずれにせよ)

職住隣接

- ・つながり
- ◎子供(親)の考え方 をかえる場を作る
- ◎大学生 サークル(社会集 団)からの接近

身近に 仕事がある

ICT

<ICTを活用し た情報共有>

- ・人の育成
- ・ハード面の 普及

<仕事も遊びも 子育ても地域で 完結> 情報の共有化 →ICTの活用

ICTで情報発信

陵南公園

陵南公園 BBQの場 水遊びの場 花壇の整備

CAFE移動販売

子どもから大人 まですべての 世代で一日を すごせる場所 人々のオアシス

公園の活用

公園の活用 人と人との ふれあいの場と して

ヒトの確保

リソース 人的資産の活用

町会 学生、若い人に メリットを理解 してもらうこと またその機会が 少ない

人から人へ 親から子へ孫へ 成り手を増やす、 増やせる環境、 流れ作り

人的リソースが 限られる (顔ぶれが同じ) 子ども、 学校関係に おいて

親は移住して

きたところでも、

子にとっては

そこが

故郷になる

地域のことを 考えていなかった人 も数年たつと 周りの人の誘いも あって、地域のこと を考える場にいる 誘い方次第でこう いった人を増やせる のでは

専業主婦の

地位向上

子は親を見て育つ

町会などにも自分 から参加するよう になるのでは

人がいない (どこに 行っても 同じ人がいる) り、おしゃべり)

公助にたより 緩和。その分 公助でなければ 出来ない活動に

大家族への期待

- ・互助精神で負荷
- の偏りをなくす
- ・情報の共有化の 仕組み作り

陵南校区で大家族

歩いて10分程度 で交流できる 集団活動

陵南校区は 住宅商業施設、 電車、バスの 交通網は比較的 ととのっている 校区は約4km四方 である 10分徒歩は 約1km以内

シングルマザーの

削減

・結婚離婚は自

由。ただ子供

・子育てに専念す

べき

は親を選べない

る覚悟で出産す

・出来ちゃった結

婚はもってのほ

大家族への期待

がちを地域援助で 注力してもらう

- ・共働きしやすい 環境

大家族化への期待

- ・個人のやすらぎ は金で買えるか?
- ・私は両親は共働き であったが、祖母 が育ててくれた。 母が参観に来た 記憶はない。

人のつながりを 大切にする 教育を

学校を選ぶのは

「親 |

シングルマザー を減らしたい

大家族のような

親が選ぶ 選んでる その地域に ついて根ざして

自由学区

地域

その場に すんでるだけ 地域のことを 考えることが ない

地域に対する 帰属意識

親は移り住んで きても、 生まれた 子供には故郷

地域貢献とは?

学校

地域への愛着を 持ちづらい (自由学校区)

自由学区制度が 地域の つながりを 希薄化 させている

いない

教師の 地域への理解